



宝永小だより

No.11
福井市宝永小学校
令和6年8月30日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

1学期後半スタート

8月27日(火)から、1学期後半が始まりました。夏休みが終わり、一回りたくましくなった子どもたちが元気に登校してきています。早速、校内に響く子どもたちの歓声で、学校に活気が戻ってきました。久しぶりに挨拶を交わした子どもたちは、元気な姿と、お手伝いや様々な体験をして自信に満ちあふれた笑顔を見せてくれました。

学校では、校内運動会や様々な教育活動を予定しています。熱中症対策をしながら、子どもたちにとって充実した学びの多い活動を実施していきたいと考えています。子どもたちが、笑顔で元気に学校生活を送ることができるよう、引き続き、地域の皆様・保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

下記に、前号の「宝永小だより」に掲載できなかった、夏休み前の子どもたちの学習の様子を、ご紹介します。



<4年生のヘチマ>

6年生 オンラインでインタビュー

6月27日(木)・7月4日(木)

ALT(外国語指導助手)訪問の日に、



これまでの英語学習の成果を発揮する機会にしようと、〇〇〇〇先生のご両親(アメリカのニュージャージー州在住)とオンラインで交流しました。子どもたちは質問内容を事前に考え、緊張しながらも、ジェスチャーを交えたりしながらインタビューをしました。グレッグ先生のご両親は、子どもたちの質問に笑顔で、丁寧に答えてくださいました。子どもたちは、英会話の楽しさを体感するとともに、海外への興味も膨らませることができました。貴重な経験をすることができた子どもたちは、満足そうでした。

5年生 「地域 × SDGs」で探究

7月12日(金)

福井市キャリア教育プログラム事業の一環として、SDGs構築支援サスティナ代表 〇〇 〇〇 様による「SDGs授業 ～課題探究～」の授業が実施されました。

これまでにも総合的な学習の時間に、環境問題について学んできている子どもたちは、6月には、「SDGs授業～カードゲーム～」の授業において、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、「SDGsがあることによってどんな変化や可能性があるのか」をカードゲームで体験的に理解していきました。それを受けて、今回は、地域のよいところや不満なところをたくさん出し合い、その中から気になったことを1つ決め、その解決に向けて、自分たちができることを考えました。仲間と意見を交流しながら、各自が、世界に一つだけのプロジェクトカードを作り上げました。このカードを元に、SDGsを身近なものとして、自分にできることを実施していってくれることを期待しています。

<意見を交流する子どもたち>

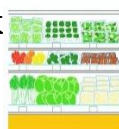


<5年児童の感想> ・このプロジェクトカードに書いたことを明日からしていきたい。 ・違うプロジェクトカードも作ってみたい。

3年生 スーパーマーケット見学

7月16日(火)

社会科「店ではたらく人」の学習の一環として、地域のスーパーマーケットである「グルメ館」を見学させていただきました。子どもたちは、バックヤードや各売り場を興味津々に見ていました。お店のスタッフの方の丁寧な対応のおかげで、大変充実した活動ができました。子どもたちは、今回の見学を通して、教科書で学んだ知識を実際に確かめ、理解を深めることができました。



<3年児童の感想>グルメ館の見学をして、肉を切るきかいで、とても大きい肉をうすく切れたのがすごいと思いました。エビフライにラップをかけるとき、すごいはやさでかけていたのがすごいと思いました。店長さんから、いろいろな話を聞けてよかったです。グルメ館のみなさん、ありがとうございました。

4・5・6年生 着衣泳を学ぶ

7月18日(木)

6月中旬から、プール学習が始まりました。この日は、福井



市中消防署員の方から、「着衣泳法」を教えていただきました。「着衣泳」とは、いざというとき、呼吸を確保し、救助されるまで浮き続ける自己保全を目的とした対処法です。子どもたちは、衣服やズックを身に付けた状態でプールに入りました。体が思うように動かないことと、無理に泳ごうとすると危険なことを体感しました。逆に、体の力を抜いて、仰向けで水に浮い

<ペットボトルで浮く子どもたち>て救助を待つことを学びました。

「福井県版ポジティブ教育プログラム」スタート

本校では、今年度、「福井県版ポジティブ教育プログラム」を研究の中に取り入れることにしました。そのため、まずは、5月1日(水)に、福井県教育総合研究所 教育相談センターより、〇〇 〇〇 様にご来校いただき、「福井県版ポジティブ教育プログラムの実践に向けて」というテーマで現職教育を実施しました。「福井県版ポジティブ教育プログラム」とは、子どもたちに「幸福を自ら創り出していく力」を育てることで、「持続可能な幸福を育む学校づくり」を目指すとともに、子どもたちの自己有用感や学級への達成感を高め、いじめや不登校等を未然に防ぐものです。今年度は、福井県教育総合研究所から継続的な支援をしていただくとともに、「福井県版ポジティブ教育プログラム」の提供もいただきながら、本校独自の計画を立てて進めていきます。



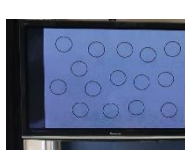
＜現職教育の様子＞

本プログラムには、①社会性を育て、いじめ等の予防につながるソーシャルスキル教育を柱としたプログラム ②仲間同士の認め合い、支え合いが可能となるピア・サポート活動を柱としたプログラム ③逆境に負けない心を育てるレジリエンス教育を柱としたプログラム があります。6月には、ソーシャルスキル(人と気持ちよく過ごすためのコツ)として、下記のように、「互いに認め合う仲間づくり」を実施しました。仲間の意見を聴いて、子どもたちからは「ああ〜」「なるほど」「へえ〜」という、自分の脳が成長したときの言葉が出ていました。低学年の子どもたちからも、「楽しかった。」「またやりたい。」等の感想を聴くことができました。

＜1.導入＞ソーシャルスキルについて知る。



＜2.ミニゲーム＞アイスブレイクとして、「後出しジャンケン」をする。



＜3.今日のスキル＞「みんなってすごい！自分もすごい！」に取り組む。

①〇がたくさん描かれた1枚の絵を見て、何に見えるか想像し、ワークシートにできるだけたくさん書き出す。②一番多く書けた人が発表する。③自分と同じものがあったら、チェックする。④チェックされていないものを班で出し合い、「これは誰とも重ならないだろう」というものを決めて発表する。

＜4.振り返り＞

振り返りカードに感想を書く。担任から、まとめの話を聴く。

＜4年児童の感想＞わたしは、ソーシャルスキルをやって、友だちの意見が、自分が思いつかないことばかりだったので、とてもすごかったです。みんなの意見も聞けて楽しかったです。

＜5年児童の感想＞今日の学習で、みんなの意見をみんながたがいにみとめ合っているのが素敵だと思いました。いろいろな意見が出て、こんな考えがあったんだと思えるようになりました。

＜6年児童の感想＞私は、互いに認め合うことは他の人と物事を進めるときに役立つのだなと思いました。なので、これからは否定するのではなく、まず共感したり、はく手をしたりしたいです。

夏休み中の教職員の学び

今年度の「進明中学校区 夏季合同研修会」は、7月30日(火)に、進明中学校に宝永小学校・松本小学校・啓蒙小学校の教員が参集して開催されました。福井県教育総合研究所 教育相談センター 〇〇 〇〇 様から「幸せを自ら創り出す力を育てる～レジリエンス教育を通して～」と題して講義を受けました。これは、本校が他校に先駆けて取り組んでいるポジティブ教育についての研修で、他校の教職員からも、その良さを賞賛する声が聴かれました。その後、授業づくり・生徒指導・交流活動・小中接続の各部会に分かれて、各校での実践を語り合いながら、小中連携についての具体的実践の共通理解を図りました。

8月21(水)には、特別支援教育「当事者の視点 合理的配慮」の校内研修を実施しました。担当教員から、自閉症スペクトラム症や読み書きに困難がある子どもの理解や支援について学びました。また、ICT研修として、担当教員から、ロイノートの活用法をタブレットを使って学びました。

さらに、福井県教育委員会主催の「法令の遵守および服務規律に関する臨時研修会」と「令和6年度不祥事防止に関する臨時教職員研修会」(オンデマンド配信による研修会)を全教職員が視聴しました。アンケート回答フォームで、多くの質問に答えながら、研修内容を振り返り、大事なことを確認することができました。

夏休み中には、他にも、福井県小学校教育課程研究集会や福井市教職員目的別研修など、多くの研修が開催され、本校の教職員も積極的に受講しました。また、各教職員が学んだことを他の教職員に伝達し、共有しています。今年度の本校のスクールプランにも、「教職員の自己研鑽と協働体制」を具体的な取組として掲げています。本校の教職員は、他にも、各自がいろいろな方法で資質向上をめざし、子どもたちのために、常に学び続けています。

*夏休み中の学校に、嬉しい知らせが届きました。それは、夏休み中に、学校西側の道路に、車を停めていた業者の方の話です。その後、車の上にバインダーを置いたまま、車の運転をして立ち去ってしまいました。すると、そのバインダーが落ちて、挟んであった15枚の書類が道路に散乱しました。なんと、尾上公園で遊んでいた本校の子がその書類を拾って、交番に届けたのです。書類には、業者の名前が書いてあったので、交番からその業者に電話をかけて、大事な書類がちゃんとその方の元に戻ったというのです。その業者の方から、感謝の電話がありました。自分で考えて行動できたなんて、すばらしいことです。

*8月10日(土)に、学校開放委員会の皆様が、体育館のワックスがけをしてくださりました。日頃の使用により、白っぽくなっていた床でしたが、丁寧に作業をしてくださったおかげで、艶が蘇りました。猛暑の中の作業、本当にありがとうございました。

*本校第23代校長〇〇〇〇様(平成11年4月～平成14年3月在任)より、4月に発刊された「認知機能を鍛える算数 おもしろ問題 -考えることを楽しむ-」をご恵贈いただきました。本校図書室の蔵書とさせていただきます。ありがとうございました。

*昨年度から休職していた〇〇〇〇教諭が、8月1日(木)より、復帰しました。今後とも、どうぞよろしく願います。

